



令和3年度 花巻市博物館ミニ展示

「稗貫・和賀両郡と再仕置
— 支城となった花巻城 —」

上記の展示が、テーマ展示「鉄道と花巻」と同時に開催されています。

今年は、奥羽再仕置（1591年）によって豊臣秀吉の天下統一が完成してから430年目にあたります。奥羽再仕置430年を記念し、関係する地域の博物館等が連携して展示等を実施しています。歴史ファンだけでなく、社会科の先生方や中学生に、是非、見学していただきたい展示です。

テーマ展示「鉄道と花巻」

前回の号で上記のテーマ展示が開催されていることを紹介しました。今回は、どのような内容の展示がなされているか簡単に紹介します。

序章 舟運から鉄道へ

東北本線が開通するまで、物資運送の主役だった舟運について、解説しています。

第1章 花巻近代鉄道史の夜明け

現在の東北本線は、明治14年（1881）に設立された日本鉄道会社によって、明治15年（1882）に着工されています。

第2章 内陸から沿岸へ

大正4年（1915）に、花巻と仙人峠間が開通した岩手軽便（けいべん）鉄道について解説しています。工事の様子等の写真も展示しています。

- ・岩手軽便鉄道北上川架橋工事の写真
- ・岩手軽便鉄道鱒澤隧道工事の写真
- ・岩手軽便鉄道花巻停車場
- ・岩手軽便鉄道北上川鉄橋 等々

第3章 温泉へ行こう

東北本線開通後、花巻の温泉地へ向かう交通手段として花巻電鉄が誕生しています。大正4年（1915）に鉛温泉線が、10年後に花巻温泉線が開通しました。当時の様子が分かる写真等も多数展示しています。

終章 賑わうまちと新花巻駅の開業

明治23年（1890）の東北本線一関盛岡間開通、岩手軽便鉄道、花巻電鉄と続く、花巻における鉄道開発で賑わう花巻の様子を伝えます。また、昭和39年（1964）のいわて花巻空港開港の様子や、昭和61年（1986）東北自動車道花巻南インターチェンジ開通時の写真も展示しています。

夏休みが間もなく始まります。夏休み期間を利用して、小学生や中学生に、是非見学に来ていただきたいと思います。

児童や生徒に指導していただきたい

博物館利用のマナー

- ・走らない。大声で騒がない。立ち入るべきでない場所には入らない。
- ・見学の際にメモをする時は、サインペンやボールペンは使わず、鉛筆を使う。
- ・展示している資料にはふれない。
- ・傘や竹刀などの長いものは、受付にあげて展示室に入る。
- ・許可されている場合を除き撮影しない。
- ・マスク着用とソーシャルディスタンスを守って見学する。

5月下旬から6月の 博物館利用の紹介

特別展示見学

学 校：矢沢中学校 2年生

日 ち：5月27日

教 科：美術

- ・美術の授業の一環として、浮世絵について学ぶ。

見学内容：特別展示「美を競う肉筆浮世絵の世界」

見学時間

2年A組 10:00～10:55

2年B組 11:05～12:00

見学方法等

- ・前半20分は、講座・体験学習室で特別展示「美を競う肉筆浮世絵の世界」の学芸員による解説を受ける。
- ・後半は特別展示室に移動し、美術担当の先生から出された課題に沿って見学をする。
- ・生徒は、浮世絵を鑑賞しながら、気に入った作品を3点選びその理由を記入鑑賞してみたの感想
- ・浮世絵を生で見るとは初めてで、いろんな浮世絵があって、どれも素敵な絵だった。浮世絵について知ることができてよかった。(A組生徒)
- ・浮世絵の系統が全て同じような絵かなあと考えていたけど、その浮世絵の、それぞれの良さがあったとどれもきれいだった。また行ってみたいと思った。(B組生徒)
- ・111点の浮世絵を見るのが初めてだったので、楽しかったです。女性の絵が多くて華やかでした。錦絵や浮世絵がかかれた時代のことも説明してくれたので、見やすくてとてもいい思い出になりました。(B組生徒)



熱心に見学している矢沢中学校の生徒

出前授業

「縄文時代の暮らし」の利用

学 校：湯口小学校 (6月2日)

笹間第二小学校(6月28日)

授業の流れ

- (1) スライドを使って学芸員が解説
 - ・学校の近くにどんな遺跡があるか
 - ・縄文人について
 - ・縄文土器の特徴、縄文時代の6つの時期
 - ・縄文時代の環境の変化
 - ・縄文人が使っていた道具
 - ・縄文人の狩り
 - ・縄文人がどんな家に住んでいたか
- (2) 本物の土器を観察したり、土器片や石器に触って観察したりする。
 - ・土器にも時代によって厚さや模様の特徴がある。
 - ・石器に触れ、その鋭さなどを体感する。



湯口小学校の児童が学芸員の解説を聞きながら答えている様子



笹間第二小学校の児童が、土器片や石器を観察している様子